



ヴェーブル & 情報

月 末 休 館 日

ヴェーブルトレーニングルーム・合志歴史資料館 ※合志図書館は開館します

3月31日(土)

生涯学習主催事業「家庭菜園教室・園芸教室」開講!

受講を希望する人は、下記の方法でお申し込みください。

〈家庭菜園教室〉

- 内 容 季節野菜の植え付けから、栽培・収穫までを年間通して行ないます。
- 講 師 衛藤 義廣 さん
- 開 講 日 4月6日(金) 午前9時～11時
※開講日以降は、毎週金曜日の午前9時～11時(平成25年2月まで開催)
- と ころ 合志市学習農園(ヴェーブル東側)
- 受 講 料 2,000円
- 材 料 代 年間で3,000円程度
- 募 集 人 数 25人程度

〈園芸教室〉

- 内 容 草花の育て方(土作り、水やり、肥料)などガーデニングの基礎を楽しく学びます。
- 講 師 平山 尚信 さん
- 開 講 日 4月3日(火) 午前10時～正午
※開講日以降は毎月第1・3火曜日(全15回)
- と ころ ヴェーブル東側駐車場横
ビニールハウス内
- 受 講 料 1,000円
- 材 料 代 前半・後半 各2,000円
- 募 集 人 数 25人程度

- 申込期限・方法 3月22日(木)までに窓口または電話・FAXで申し込みください。
※申し込みが定員を超えた場合は、抽選で決定します。結果については、ハガキでお知らせします。
- 申し込み・問い合わせ先
生涯学習課(ヴェーブル) ☎248-5555 FAX 248-5450



クラブにしごうし会員と「子ども水泳教室」参加者募集

平成24年度会員募集

3月15日(木)から募集を始めます。子どもから高齢者まで誰でも参加できる種目があります。クラブにしごうしでスポーツを始めてみませんか。申し込みは、問い合わせ先にお尋ねください。

平成24年度「子ども水泳教室」

- と き 毎週金曜日(4月13日開始) 午後5時30分～7時
- と ころ ユーパレス弁天プール
- 対 象 小学生40人
※応募多数の場合は抽選
- 申込方法 住所・氏名・学校・学年・保護者名・電話番号を往復はがきに記入し、郵送してください。※往復はがきのみ受け付けます。
- 申込期限 3月23日(金)当日消印有効
- 申し込み・問い合わせ先
クラブにしごうし事務局(御代志市民センター内)
〒861-1104 合志市御代志1661-16
☎242-1190

第4回「ふるさと探訪まちめぐりバス」参加者募集

今回は、細川家の肥後入国後に地筒(鉄砲隊兼開拓団)が設置された、本市黒石地区・菊陽町鉄砲小路などを訪れ歴史を学び、また地産地消の観点から地域の特産物販売店を巡ります。

- と き 3月28日(水) 午前9時30分～午後3時30分 ※少雨決行
- 見学先(予定) 菊陽町鉄砲小路・同町鼻ぐり井手・菊陽町総合交流ターミナル「さんふれあ」・きくちのまんま合志店・黒石区・ユーパレス弁天
- 集 合 ヴェーブルもしくは御代志市民センター
- 対 象 市民(30人) ※応募者多数の場合抽選
- 参 加 費 無料(ただし、昼食代は実費となります)
- そ の 他 運動靴など歩きやすい服装でお越しください。
- 申込期限・方法 3月23日(金)午後5時までに、電話かFAX、メールで申し込みください。
- 申し込み・問い合わせ先
生涯学習課(ヴェーブル) ☎248-5555
FAX 248-5450
Eメール gakusyu@city.koshi.lg.jp

人権教育シリーズ⑫

市では人権教育の推進のため、さまざまな活動や啓発に取り組んでいます。ここでは、取り組みの内容や情報を定期的にお知らせしていきます。

『不合理や差別を見抜き、ともに立ち上がるなかまをつくり上げていこう』 ～西合志中学校での取り組み～

本校では、「ともに高めあう集団づくり、なかまづくり」をめざし、「不合理や差別を見抜き、ともに立ち上がるなかまをつくり上げていこう」のテーマのもと、全職員で人権教育に取り組んでいます。

地域や保護者の思いや願いを受けながら、差別に気づき、考え、なくしていこうとする態度を育成し、部落差別をはじめ、あらゆる差別の解消に向け、すべての教育活動の中で人権学習の効果的な実践を行なっています。

ハンセン病に関する「親と子のシンポジウム」

9月に熊本学園大学高橋守雄記念ホールで「ハンセン病に関する『親と子のシンポジウム』」が行なわれました。



パネルディスカッションでは、4人の中学生のパネリストが意見発表をしました。最後に発表をしたのが、本校を代表してステージに上がった2年生の篠原亜実さんです。自信を持って堂々と、1年生の時にハンセン病回復者の人の手記から学んだことや菊池恵楓園現地学習「フィールドワーク」で体験したことなどを発表しました。

発表の最後を「ハンセン病についての正しい知識と差別の事実、そしてそれに負けずに立ち上がってきた人たちの歴史を次の世代へと伝えていき、回復者の人がおっしゃったように、命の輝く生き方をしていきたいと思います。」と結んでいました。

人権月間と校内人権集会

毎学期に「校内人権月間」を設け、各学年での授業による人権学習をはじめ、各学級や委員会でもさまざまな活動を行なっています。特に2学期は、合志市の共通教材を扱った人権学習に取り組んでいます。「同じ合志市に暮らす子どもたちが系統的な部落問題学習を行なうことによって、その教材に込められた思いや願いを学び、同じように差別を見抜きなくす力をつけていきたい」という理由からです。

12月には『2学期校内人権集会』が行なわれました。各学年学級から人権月間や修学旅行で学んだことを中心に出し合っていました。発表に対して自分の感想や思いを書いたり、それを発表する時間を設け、全体の場で発表しました。



▲2学期校内人権集会

～2年生の発表「沖縄修学旅行をおえて」を聞いた3年生の感想～

“人間が人間でなくなる”という言葉が一番心に残った。昨年のことを思い出した。初めは興味がなかった戦争の事も、次第に関心を持つようになっていったのに、今ではその事を忘れかけていた。その事に気づけたのでよかった。自分で見た写真や資料を思い出した。赤ちゃんもおじいちゃんも…みんな関係なく殺されていく姿をはっきりと思い出した。「戦争はいけない」と言うけれど、一人の人間に戦争は止められないと思う。だから、沖縄の人たちは今でも戦争のことを語っているんだと思う。

次回は6月号に掲載予定です。